

第3回 カジノ管理委員会契約監視委員会議事概要

- 1 日時 令和5年6月14日（水）14：25～14：50
- 2 場所 カジノ管理委員会12階大会議室（web会議システムを併用）
- 3 出席者 委員長 工藤 裕子 中央大学法学部教授
委員 大森 明 横浜国立大学経営学部学部長
委員 中村 豪 東京経済大学経済学部学部長
- 4 議事概要
 - （1）開会（冒頭、委員の互選により、工藤委員が委員長として選任された。）
 - （2）調達案件の審議
令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に締結した契約のうち、委員が抽出した調達案件2件について審議が行われた。審議の概要は別紙のとおり。
 - （3）閉会

意見・質問	説明・回答
1 入退場管理システムにおけるPJMO支援業務	
仕様書について、一者応札とならないようにどのような工夫をしているか。	仕様書作成の段階から情報化参与に支援を受けながら特定の事業者には有利な仕様とならないよう工夫を行っている。
一者応札となった理由についてどのように分析しているか。	令和3年度の工程は、プロトタイプ設計開発の2回目のイテレーション開始からであったが、令和4年度の工程は、本体開発の詳細設計が完了して開発・単体テストを開始したところであり、工程の境目ではなかったことが原因であったと分析している。
競争性が働くように工夫をした点はあるか。	調達の際に希望者に対して関連資料を開示することとしたほか、提案書について、十分な準備期間の確保を行っている。また、他省庁における契約状況等の情報を収集し、応札可能な事業者がいないか情報収集を行っている。
2 令和4年度 カジノ広告勧誘に関する文献調査委託業務	
応募者が一者となっている理由は何か。	本件は、学問的な見地から、受注者の要件を学校法人又は公的な研究機関と設定しており、かつ、様々な分野の学問領域を有機的に連携して行う必要があること等が原因と考えられる。
再委託について、内容は適切か。	4つの大学に再委託を実施しているが、それぞれ発達心理学、保健学、法学及び教育学の各分野の専門家に専門的な見地から掘り下げて分析いただいております、適切であると考えている。
契約金額は妥当な金額であるか。	文献収集及びリストの作成について、仕様書上、過去5年分程度かつ50件以上としているが、実際にはこれを大きく上回る件数となった。また、それぞれの領域で掘り下げた検討を実施しており、妥当な金額であると認識している。